

## 感謝の言葉

院長 深町 正信

このたび、青山学院大学経営学部教授坂井幸三郎先生には22年間の青山学院大学における仕事を終わられ、定年退職されるにあたりまして学院を代表して心からの感謝を申し上げます。

先生のエネルギーなお姿はいつも私達を力づけ、励まして、無言の声援を送っていただきました。先生は1953年、青山学院大学商学部商学科をご卒業後、引き続いて青山学院大学大学院経済研究科経済学専攻修士課程を1956年に修了されました。

更に、先生は母校である青山学院大学経済学部の副手、助手、専任講師、助教授となり、ご専門の商学分野で後輩の指導に熱心に当たられました。先生は学生達を大切にされ、一人一人の育成に当たられ、学生達も先生を敬愛しておりました。先生はマーケティング論、流通論、経営戦略論、製品開発論等を講じられ、また、レジャー産業のマーケティングの実践研究をはじめ、多くの企業の実践研究に当たってこられました。

1970年に、経営学部の教授に昇任されまして、退任されるまでに、経営学部第二部経営学科主任、大学就職部長等を歴任されました。永年にわたる青山学院大学でのご功績に対して、坂井幸三郎先生は青山学院大学名誉教授に推挙されました。今後は今までと別のお立場で、母校の更なる充実、発展のためによきご助言とご支援とを賜りますように心からお願いを申し上げますと存じます。

先生の研究業績としては、まず著書は文部省検定済高校教科書の「標準商事、商品取引所」、「標準商業一般」、中学教科書「新しい商業」や上記の教科書の教師用指導書等があります。その他、「マーケティングの新動向、商業政策」「インフォーマル コミュニケーション」「脅威の販売組織」「日本工業大事典「商標」」「競争の共存時代を勝ちぬく流通戦略」「現場発想のセールス プロモーション」他があります。

学術論文は「株式配当論」「商標忠実性について」「有標化の基本的要件」「商標忠実性の意義と測定」「有標品市場の不完全性について」「グラント プロモーションについて」「グラントマンについて」「複数商標政策の意義と役割」「有標化と商品系列」「大量販売におけるブランド プロモーション」「複数商標政策の活用と事例」「有標化による需要の案手位」「中小企業における商標統一化のうごき」「海外進出の

ための広告活動」「海外進出とブランド」「テスト マーケティング」「都市構造の変貌と消費者行動の変化」「ローカル、マーケティングの定理」「大学 PR の新方向」「わが国における大都市隣接地帯の研究」等ほか多数です。又、1986年から1991年まで、通商産業省の中小企業近代化審議会専門委員を務めておられます。

坂井先生は災害や地震等が起こったときの人々の生活や、福祉についても関心を寄せられて、企業に協力をお願いして多くの援助物資を届けてくださったことは、今も忘れられない思い出であります。

もう一つ、何年か前の大学体育会ゴルフ部の祝賀会の折に、先生は私がゴルフの経験がないということを知られると、ぜひ一度ゴルフの楽しさを教えたいと言われました。どうぞ、今後はゴルフと共に健康をお大切にご活躍くださるよう願います。

坂井幸三郎先生が色々な機会を覚えて、サークルの学生達や OB、OG と学内に記念植樹された木々が、今やキャンパス内で立派に成長しています。このようにして、先生が青山学院大学に蒔いてくださった愛と学問の種はやがて10倍、50倍、100倍の豊かな実を稔らせるに違いないと確信しています。今日まで先生を支えてこられた令夫人をはじめご家族の皆様の上に、主の豊かなお守りとお導きを心からお祈り申し上げて、感謝の言葉といたします。